

令和 6 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,355,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,554	8,095	8,302	7,714	6,286
	移動児童館利用者数	166	348	225	214	393
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※6(4)	※11(10)	※8(6)	※7(5)	※13(11)
	開館日数(単位:日)	151	154	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施 ②所長(常勤職員)、常勤職員2人、非常勤職員4人の合計7人を配置(児童厚生員資格は所長を含め3人、保育士資格は5人、幼稚園教諭免許は5人、教員免許は2人) ③引き続き児童センターのおたより「はみんぐ」を、乳幼児用と児童用の2種類を毎月発行・配布した。【加納西校区自治会回覧(ペーパーレス化により公民館に設置に変更)・小学校(5校)・聾学校・中学校(1校)・幼稚園・認定こども園(3園)・公民館(5館)・南部コミュニティセンター・ドリームシアター岐阜・南市民健康センター・放課後児童クラブ(4クラブ)】 ・おたより「はみんぐ」は和光会ホームページにも掲載している。なお行事等終了後は、和光会ホームページに記事を掲載した。子どもボランティアの取り組みも掲載した。 ・おたより「はみんぐ」の紙での配布や掲示について、各小学校にご意見を伺った。周知の仕方など貴重なご意見をいただいたことで、今後のより良い運営に生かしていく。 ・普段利用している児童が、児童センターを1年生に紹介したいと、教員と取材のため来館し、1年生の利用増加に繋がった。 ・母親クラブの各サークルのチラシを館内に掲示し、利用者や地域への周知を図り、担当者と連携して参加者増加や運営内容の充実の協力を行った。 ・地域の方が、利用だけでなく、子育て支援や健全育成に協力・参加しやすいよう、道路沿いのフェンスの目の届きやすい場所(ゴミ収集所)に掲示した。 ・毎日の戸外清掃で交流ができた地域の方に、児童センターへの興味を持っていただき、知人への紹介に繋がり、利用に積極的になったと伺った。 ・和光会総務課で募集していたボランティア希望の方に、児童センターを紹介したところ、関心が高く、これまでの経験のない児童センターでの活動を希望していただき、ご活躍いただいている。 ④常時、ご意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、素早い問題の解決に努めた。 ・来館・退館時に声をかけ、話しやすい雰囲気づくりの中で、児童センターへの期待や要望を職員に伝えやすいようにしている。アンケート結果は幼児室と図書学習室に掲示した。 ⑤来館状況・利用者状況により計画書に基づき、臨機応変に対応した。

<p>自主事業 提案事業</p>		
<p>施設管理</p>	<p>①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理</p>	<p>①適切に実施 ②利用者が帰られる度におもちゃ等の消毒、及び 破損等の点検をした。消毒はアルコール、次亜塩素酸ナトリウムの希釈液、オゾン式保管庫を適宜使用した。 ・週2回、就労促進事業清掃班による清掃が行われている。館周辺の除草、木の剪定、清掃等を毎朝行い、快適に利用していただけるよう努めた。 ・雑草・病害虫対策としてクローバーを植えたところ、四葉のクローバーを見つけられるのを楽しみにしている児童がいる。 ・自然と触れ合う機会が少ない土地柄において、庭で設置してある机やベンチを利用しながらゆったり過ごせるよう環境を普段から整えている。 ③冷暖房の設定温度を気温・室温に応じてこまめに調整し、サーキュレーターの効果的な使用に努め、エアコンの修繕により、 ・廃材を利用した玩具づくり等資源を大切にすることにした。 ・雑草が生えている所にハーブや乾燥に強い花の苗を植え、虫よけの対策や景観を改善した。 ④専門業者による遊具点検を、年2回実施した。 破損したおもちゃは月1回開催されるおもちゃ病院の職員に相談し、修理することで安全に使用できるものに関しては修理を依頼し、大切に使用している。また、施設修理等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理を依頼し、施設の維持管理に努めた。施設警備業務は日本ガード株式会社が安全維持管理し 随時巡回点検を行い、異常箇所の有無確認をしている。</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①ヒヤリハット報告書を記入する事で、日頃から職員が小さな気づきを意識した。全職員が意識することで危険な箇所を点検し、速やかに修繕を実施した。 ②修繕については指定管理者(和光会本部)の警備員等と一緒に危険箇所の発見・整備を行い、安全に利用できるよう努めた。 ・建築からの長い年月による不備・不良な箇所は、市担当課に相談し、修繕依頼し、改善が進んでいる。</p>
<p>危機管理 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守</p>	<p>①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施した。(全職員で、育成研修課からの年間研修計画書に沿って、個人情報・コンプライアンスなどの研修を行った)また、法人内の感染症対策研修等に参加し他の職員に伝達講習を行うことでリスクマネジメントを含め職員間の認識強化を図った。ヒヤリハット報告書記入を強化し周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和7年2月27日～3月14日 回答者数: 50人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和7年2月27日～令和7年3月5日 回答者数: 50人(小学: 1年6人、2年22人、3年3人、4年10人、5年8人、6年1人) (中学: 1年0人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 加納西(25人)、三里(13人)、加納東(6人)、厚見(2人)、その他市内(2人)、市外(2人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(16%)、30代(62%)、40代(20%)、50代以上(2%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(14%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(10%)、週1回(38%)、2週間に1回(18%)、月1回(18%)、その他(0%)</p> <p>【来館相手】 子・孫(100%)、友人(0%)、その他(0%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0才(28%)、1才(25%)、2才(30%)、3才以上(17%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(45%)、自転車(2%)、自家用車(53%)、公共交通機関(0%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(46%)、広報紙・チラシ(6%)、学校(6%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(17%)、ぎふし子育て応援アプリ(4%)、ブログ・SNS等のソーシャルメディア(4%)、その他(19%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(94%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(92%)、ほぼ満足(4%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(94%)、ほぼ満足(4%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(76%)、ほぼ満足(18%)、普通(4%)、やや不満(2%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(82%)、ほぼ満足(16%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(72%)、ほぼ満足(26%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(72%)、ほぼ満足(22%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 加納西小(44人)、加納小(5人)、その他市内(1人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(12%)、2年(44%)、3年(6%)、4年(20%)、5年(16%)、6年(2%) 中学: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(6%)、毎日(8%)、週4・5回(16%)、週2・3回(26%)、週に1回(26%)、その他(18%)</p> <p>【来館相手】 ひとりで(25%)、友人(52%)、兄弟姉妹(13%)、父母(10%)、祖父母(0%)、親戚(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(52%)、自転車(37%)、自家用車(8%)、バス・電車(0%)、その他(4%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(37%)、カードゲーム(17%)、カラム(13%)、卓球(9%)、その他(24%)</p>

利用者からの
要望・苦情と
対処・改善

<保護者>

○いつも親切にして頂いてありがとうございます。
○先生方がとても温かく優しく接してくださり、子どもがとても喜んでいました。ありがとうございます。
○いつも丁寧な対応をしてくださり、ありがとうございます。
○いつも温かく迎えてくださり、ありがとうございます。
○親子で加納児童センターが大好きです。職員の方々も優しい方ばかりでありたいです。
○他の施設の職員より、丁寧に接してくれてありがたいです。
→温かいお言葉をたくさんいただき、ありがとうございます。励みになります。今後も親しみやすく笑顔あふれる児童センターにしていきます。
○たくさん話かけてくれるので、相談がしやすいです。
→ありがとうございます。不安なことや困ったことはもちろん、聞いて欲しいことがあれば、お気軽に職員に声をかけてください。
○オムツを替える時に、上の子や下の子の対応をしてくださってありがとうございます。
→困った時は、いつでも職員に声をかけてください。
○近くに施設があり、ありがたいです。
→ありがとうございます。徒歩では遠い保護者の方は、子育てを支援されている各地域のサークルもご利用ください。
○1人で来館した際に、すぐに声をかけてくださったのが良かった。
→ありがとうございます。
○コーナー遊びの日が楽しくてよく利用しています。
→ありがとうございます。みんなが楽しめるように、いろいろなコーナー遊びを用意しています。またご参加ください。
○クラブの予約の日は駐車場が混むので、何か対策をしてもらえると助かります。
→ご不便おかけしました。令和7年度より、駐車場が広くなります。
○おもちゃがもう少し増えるといいかもしれません。
○3～5歳向けのおもちゃがあると、もっと利用しやすいと思います。
→園児さんが楽しめる遊びやおもちゃも工夫していきます。
○平日余裕がある時に、他でやっている手形とかやってくれると嬉しい。
→『みんなであそぼう!』の中で、手形スタンプでカレンダー作りをする機会もあります。ぜひ、ご利用ください。
○荷物の置き場に困る時があるので、ロッカーや棚があるとありがたい。
→ご不便おかけしました。ロッカーの場所が分かりにくく、申し訳ありません。新たに掲示しましたので、ご確認お願いいたします。鍵は職員におたずねください。
○電源の入るおもちゃを置いてほしい。
○電池の切れてるおもちゃを動くようにしてもらいたい。
→電源・電池の入るおもちゃの貸出日を検討しております。よろしく願います。
○工作の人数を増やしてほしい。(ぐるぐるペタン)
→大人気で、すぐに定員がいっぱいになってしまいます。定員を増やすかどうかは、今後検討させていただきます。
なお、定員は、工作を進める親子の状況を踏まえて決めていますので、ご了承ください。
○室内がちよっと暑い。
→不快に感じさせてしまい、大変失礼いたしました。お声がけいただければ、随時対応させていただきますので、よろしく願います。

<児童>

○いろんなゲームがあって楽しいし、面白い。
→ありがとうございます。これからもいっぱい遊んで、楽しんでくださいね。
○おもちゃをいっぱい増やしてほしい。
→みんなが遊んでみたいおもちゃの中から、少しずつ増やしていきます。待ってね。
○毎日開館してほしい。
→休館日も遊びに来たいと思ってもらえてうれしいです。ありがとうございます。
○乳幼児室で遊びたい
→小さい子だけがゆっくり遊ぶ部屋も必要なので、許してくださいね
○もっと1年生が見れる本が欲しい。
→たくさん本のの中から探すのはむずかしいですね。いっしょに探しますので、声をかけてくださいね。。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	S	S	S
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

- ①全体
- ・利用者の安全性・安心感を第一に、どのような運営をしていくのか常に改善を心掛けた。
 - ・自由来館の場であることを踏まえ、感染症対策として、換気方法や消毒について適宜見直し、定期的または必要に応じて行った。
 - ・リノベーション工事による同室での乳幼児親子と児童との交流から盛んになった『子どもボランティア』は、ボランティアに限らず、来館・退館時、廊下等での関わりにおいても、自然に挨拶や会話が見られ近隣のスーパーや飲食店などでの再会時にも声をかけ合う様子を職員に嬉しそうに話すことが増えた。
 - ・毎月の命を守る訓練では、身近な危険と回避の仕方に加え、最近増えている災害と共に、不審者による身の危険が起きた時の対応も含め、施設内に限らず、普段の生活においても身を守ることの大切さ・重要性を知らせている。
- ②子育て支援事業
- ・乳幼児クラブにおいて、入園時期の低年齢化を踏まえ、クラブ等の内容と年齢区分の見直しを行った結果、参加人数が増えた。更に、他のクラブ等への参加や、来館への期待が高まり、次への来館に繋がっている。今後も状況に合わせて随時見直ししていく。
 - ・コーナー遊びや自由参加のクラブでは、毎回内容が変わることで、参加者の期待も高まり、参加が増えている。また、開始時間は決めておらず、保護者の来館のタイミングや子どもの興味・関心の様子で参加できるため注目度が高い。また、いろいろな年齢が参加することで、保護者の子育てに関する不安などを話し合う機会になっているため、大変好評であり、今後も更に充実を図っていく。
 - ・幼児室リノベーションにより、絵本コーナーの充実が喜ぶ姿があった。ビーズクッションやソファでゆったりくつろぎながら絵本を読む姿が多く見られるようになった。また、久しぶりに来館した親子も、新しくなった乳幼児室に親しむことで、再び来館へと繋がっている。
 - ・利用者が多い0歳～1歳前半中心の玩具の設定から、園児の保護者からの要望にも応え玩具を増やした。しかし、好評な反面、児童に近い年齢の園児は、児童の部屋への興味・関心が高いため、今後は、その様子に寄り添える機会を設けることを検討している。
 - ・エアコン修繕により、遊戯室の室温管理が改善できたことで、乳幼児クラブでの利用機会を増やすことができた。更に、休日等に、遊戯室で楽しく遊ぶ姿が増えている。
- ③児童健全育成事業
- ・体力増進活動として、岐阜県レクリエーション協会から用具を借りたことや、遊戯室での遊びの内容の見直しにより、人気が高かったドッジボール以外に、風船バレーやバドミントン、なわとび、卓球なども盛んとなった。また休日等に家族と来館して遊戯室で一緒に広く伸び伸びと遊びを楽しむ姿が増えた。
 - ・低学年と高学年の交流に対し、職員がきっかけ作りを重ねてきたところ、高学年が低学年に遊びの仕方を丁寧に教え、遊びに誘ったりと、交流を通して、助け合う姿が増えてきた。
 - ・一人で来館する児童が増え、職員との関わりを求めている。その姿に寄り添いながら、他の児童との交流のきっかけ作りを重ねていくことで、少しずつ交流する時間が増えてきている。
 - ・『さわやかTime』では、講師(加納西校区 民生児童委員・元教員)とも相談し、身近なものを写生して絵を描くというテーマに加え、児童に人気なものを調べ内容に取り入れたことで、参加希望者が増え、定員を超える問い合わせが増えている。
 - ・加納西地区の自治会から頂いた花の苗植えを児童が行い、玄関のプランターに咲くパンジー等を愛でる機会となり『さわやかTime』の写生を行い、より親しみを持つことができた。
 - ・地域ボランティア(母親クラブ代表)の方が作ったマスコットを欲しがると児童が多く、ご協力により、児童クリスマス会のピンゴの景品にいただいた。児童は大喜びし、ボランティアの方もうれしそうにされており、良い機会を設けることができた。
 - ・『お正月を探そう』は、お正月ならではの絵柄を館内で探すラリー形式にしたところ、文化への興味・関心もあり楽しめる機会となった。また、保護者が仕事で旅行等の予定がない場合があり、児童センターの役割として楽しい機会を提供できた。
 - ・『風を作って風あげしよう』では、都会で広い敷地が確保しにくい環境もあり、隣接の小学校の校庭を借り、オリジナルの風をあげて楽しむことができた。親子で楽しむ姿もあり、好評であった。
 - ・『アクリル風スタンドを作ろう』『レンジグッズを作ろう』は反響が大きく、定員を超え、参加できない児童も多かった。今後、再び機会を設けることを検討している。
 - ・誰もが気軽に取り組める児童の『子どもボランティア』は誰かのためになる・役立つという期待から、何かしてあげたい・手伝えたいという気持ちが高まり、乳幼児クラブ等の準備を職員と共に楽しむ姿がある。
 - ・『児童クリスマス会』は、小学生ボランティアが提案や準備を行い、中学生ボランティアが進行を行ったことで、大変楽しい会となった。また、自主的にボランティア活動を行う中学生の姿に憧れる児童も多いた。
 - ・『Enjoyおりがみ』の講師欠席により、「子ども先生」を募ったところ、日頃参加している児童が先生になってくれた。事前に季節に合わせたものを選び、折り方を工夫して、丁寧に教えていた。みんなで楽しく素敵な作品作りをする機会を設けることができた。
 - ・エアコン修繕により、遊戯室の冬季の室温状況が改善したことで、家族を誘い、一緒に利用して楽しむ児童が増えた。
- ④ 地域支援活動事業
- ・昨年度より引き続き母親クラブ会長と密に連携をとり、母親クラブ主催の行事等を協力して行っている。移動児童館の依頼による活動において、各地域の役員の方々と交流が増え、情報を教えていただく機会もできた。双方の周知に協力し合える関係となっている。
 - ・地域ボランティアの方にはさつまいもの畝の草取りなど協力していただいた。生育への期待が高まり、芋ほりに参加した児童・乳幼児親子に大変喜んでもらうことができ、地域の交流の機会にもなった。
 - ・加納西地区の『市民運動会』のチラシを掲示し、期待が高まった児童・乳幼児親子の話を聞き、さらに、職員もその楽しさを共有しながら訪問し、活躍する姿を応援した。
 - ・加納西地区の『文化祭』に参加し、児童センターの紹介と共に、訪問時には地域の方々や小学生との交流ができ、お互いの活躍を認め合い励まし合う機会となった。
 - ・加納西地区の自治会からいただいた花の苗を子どもボランティアと共に植えた。来館時に愛でながら親しむことで、自然への関心と共に、癒しをうけとることができた児童や乳幼児親子もいた。
 - ・地域の方々に協力をいただいていることに感謝し、今後も連携してよりよい運営につなげていく。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援活動では、乳幼児クラブの申込時にも楽しみが持てるよう引き続きコーナー遊びを設定し、その内容を来館の子どもの年齢状況に合わせて工夫し、トランポリンのように家庭では遊ぶ機会を設けにくい用具も導入した。毎回のよう利用する親子や、保護者同士の情報交換により、やコーナー遊びを楽しみに来館する乳幼児親子が増えている。また、父親の子育て参加や祖父母による「孫育て」が増え、コーナー遊びを利用し喜ぶ姿がある。 ・乳幼児クラブは、開始時間に来館する親子がおり、すぐにはじめられない場合には、その事情を説明し、待っている間に声をかけたり、短い手遊びやふれあい遊びをすることで、不満を解消するよう対応している。特に、0歳児の保護者にとっては、出かける際の手間が多く、開催時間前後の来館が集中するため、開始時間に落ち着いている状況でないこともある。その場合は、保護者同士が気軽に雑談できるきっかけ作りをしていくことで、開催後の保護者同士の交流や次回の再会への期待に繋げている。 ・健全育成活動では、カードゲーム等が貸出制であったため気づかない児童もあり、設定の仕方を工夫し、気軽に取り出し遊ぶことができるよう環境を見直した。すると、積極的に遊ぶ姿が増え、児童同士のコミュニケーションが増えたり、知恵を生かして盛り上がりがあったりと、図書室での遊びが広がり、活気あふれる姿も増えた。また、塾など普段予定が多い児童の来館も増えてきた。 ・児童が、職員と安心して話をしたり遊んだりする姿もあるため、『第3の居場所』としての役割の重要性を認識し、いつでも気軽に過ごせる場所の提供に努めていく。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援活動は、入園時期の低年齢化が進んでおり、0歳児の両親・祖父母の問い合わせが多くなっている。初めての来館や不慣れた土地での子育てへの不安もよく聞かれるため、安心・安全に過ごせる場所として利用できることへの周知に努めながら、来館の際に職員が繰り返し温かく迎え、寄り添いながら安心を実感してもらえるよう努めていく。 ・夕方・土日祝・長期休暇の際、幼児の図書室への興味・関心が高いことを踏まえ、今後、要望に寄り添える機会を設けることを検討し、園児も楽しめるよう見直し、改善していきたい。 ・健全育成活動では、『第3の居場所』として、いつでも安心して過ごせることを実感してもらえるよう、児童の姿や様子を職員間で共有し、見守り、必要に応じた援助を心掛けたい。 ・地域の方々との交流を通じて、乳幼児親子や児童も、見守られているという安心感の中で過ごせるきっかけとなる児童センターであるよう行事等の企画をしていく。

●所管課の意見

- 既存のクラブを見直すなど、常に改善に取り組んでいる。
- 保護者や児童が児童館へ要望を伝えやすくすることを心掛けている。
- ボランティアにかかわってもらうための取り組みを積極的に行っている。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・フェンスという、目につきやすい場所にボランティア募集の掲示を行い、地域の方にボランティアとして多数参加いただいたという点評価できる。
- ・地域の市民運動会や文化祭に職員が出向き、普段来館している児童への声かけ、応援を行うことで、子どもたちとの絆を深めようとしている点は評価できる。
- ・業務においては予算内に収めることを意識し取り組んでいただきたい。